

学校だより



せいび

令和8年4月6日
杉並区立済美小学校
校長 八代 史子

…済美小学校の大事なひとりになろう…

〒166-0013 杉並区堀ノ内1-17-24 TEL 03-3313-2364 FAX 03-3313-8634

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibishou/>

令和8年度 子どもと創る済美小学校の船出です

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。
新たに1年生69名を含む480名の子どもたちと13名の教職員を迎えての出発です。子どもの数は命の数—お子様の大切な命をお預かりする責任とともに、更に命を輝かすことのできる教育活動を目指し教職員一同力を尽くして参ります。

さて本日出港したこの船は、済美小の教育目標を目指して進みますが、そこには他校にはない大切なメッセージがあります。「済美小の大事なひとりになろう」「みんなと生きる済美の子」です。これらを以下のように捉え教育活動を進めてまいります。

済美小の大事なひとりになろう=自立
「なりたい自分」に自己を育てようとする子

みんなと生きる済美の子=共生
仲間とともに「今」をよりよく変えようとする子

学校は小さな社会です。その中で、友達とかかわる難しさや楽しさを経験しながら成長していきます。スマホやタブレット端末が一般化したことで、学校でなくてもできることは飛躍的に増えました。しかし済美小は「学校でしかできないこと」にこだわっていきます。校内のかしのみ学級だけ

教育目標
済美小の大事なひとりになろう
かしこく
心ゆたかに
たくましく
みんなと生きる済美の子

でなく、近隣の済美養護学校、堀ノ内保育園、済美職業実習所など多くの「みんな」との交流を積極的に進め、みんなも自分もよりよく暮らすために自分に何ができるかを考え行動できる子どもを育ててまいります。

昨年度は、済美小の伝統である元気のよい挨拶について「挨拶する人をもっと増やしたい」という子どもたちからの発案で、代表委員会が誰でも楽しく挨拶ができるようにとあいさつビンゴなどに取り組みました。それにより子どもたちの挨拶が劇的に増えたことから、「先生に言われたからする」ではなく「子ども自ら学校の課題を見つけ、当事者として取り組む」ことの大切さを、私たち教師が学ぶ機会でもありました。

子どもたちが「済美丸」から徐々に船を乗り換え、いずれ自分の船で広い世界を航海できるようになることを願っています。今年度も引き続きよろしく願いいたします。

【お願い】京都府で登校日に児童が行方不明になるというニュースが報道されています。引き続き校内での児童管理に改めて努めてまいります。保護者の皆様にも以下についてご協力をお願いいたします。

1 欠席・遅刻・早退は、必ずTetoruで連絡してください。登校直前の体調不良などによる遅刻も電話連絡をお願いします。（登校時刻を過ぎてもお子さんが登校せず、連絡も来ていない場合、所在確認のため学校から保護者の方へご連絡します）

2 遅刻の場合は、校門ではなく必ず担任に引き渡してください。早退の場合も、教室までお迎えをお願いします。